

まんが 子ども太平洋戦争物語

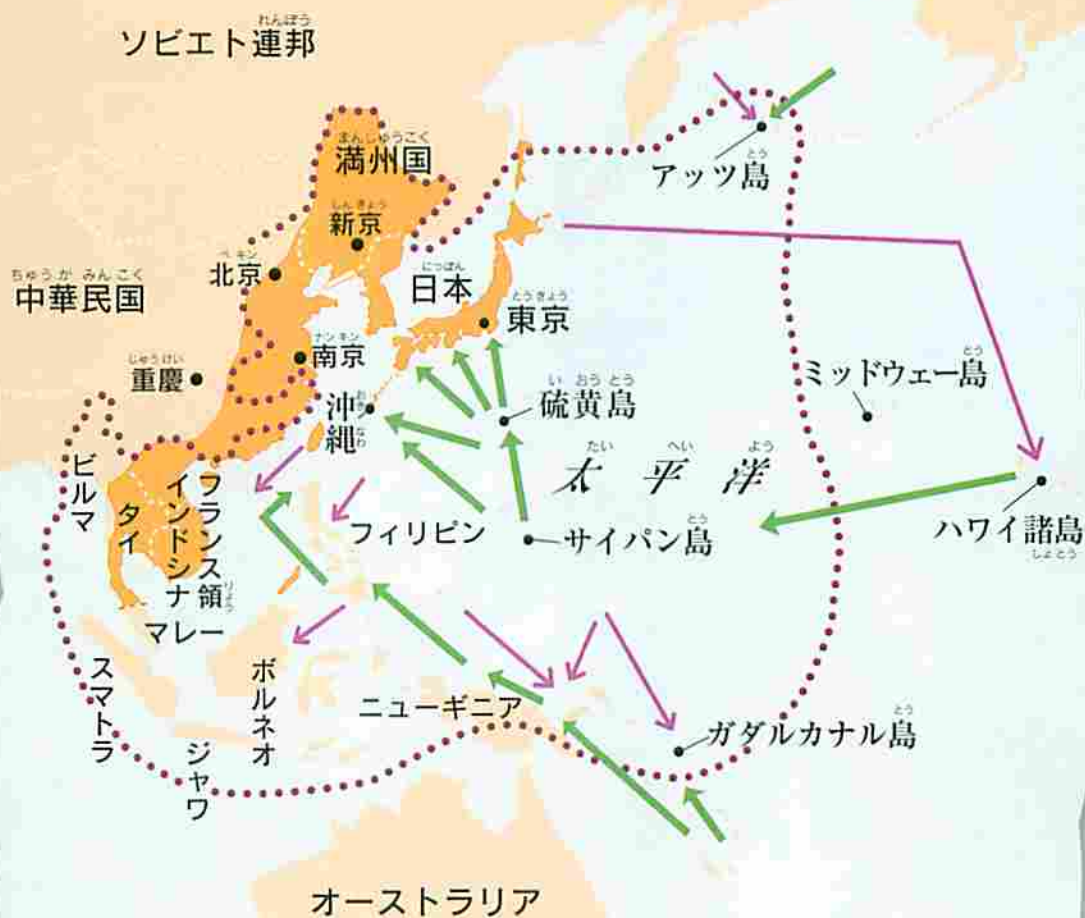
# 町が消えた



西・守谷哲己

# 太平洋戦争地図

たい へい よう せん そう ち ず



← 日本軍の進路

← 連合国軍の進路

○ 太平洋戦争がはじまったころ(1941年)の日本の勢力範囲

⋯ 1942年の夏ごろの日本軍の最大侵出範囲

(国名や地名は当時のものです)

第一章

友情との再会

一九九八年春

真弓 早く  
しなさい

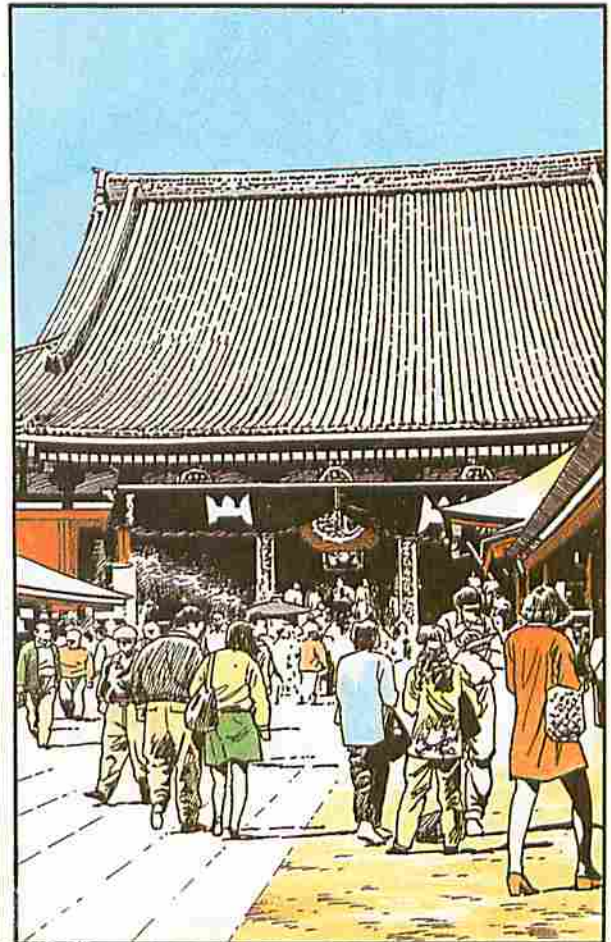
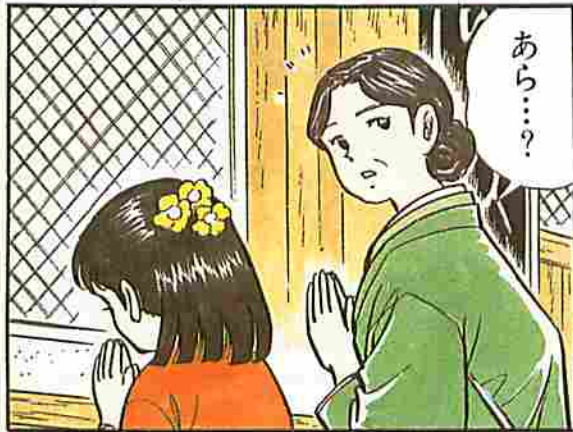
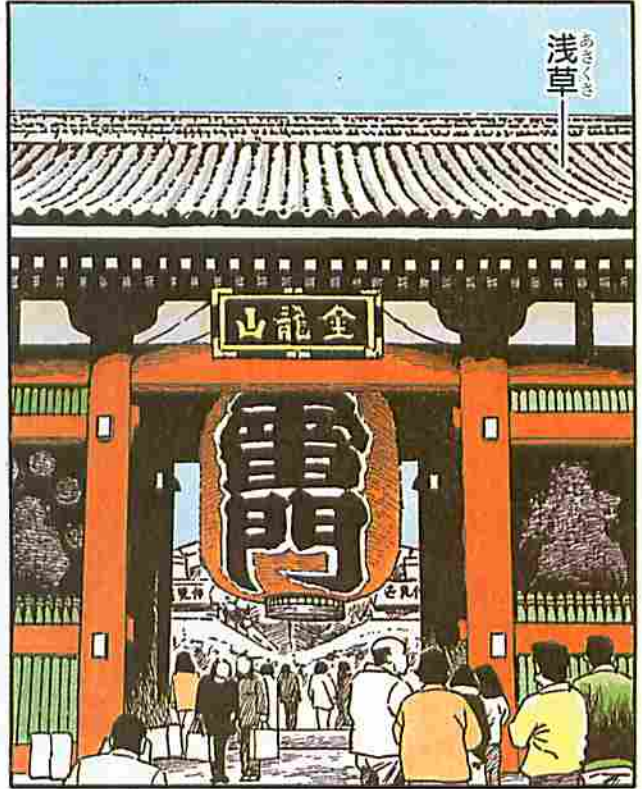
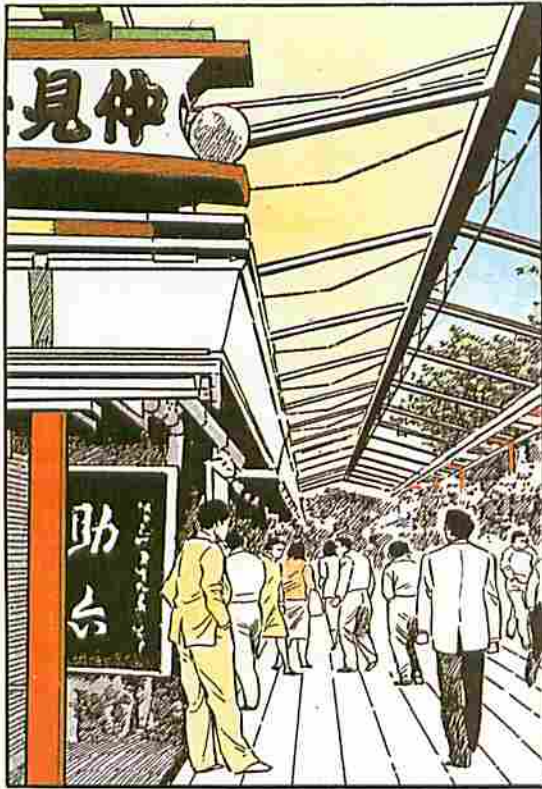
いいわね  
おばあちゃんに  
おねだりなんか  
しちゃだめよ

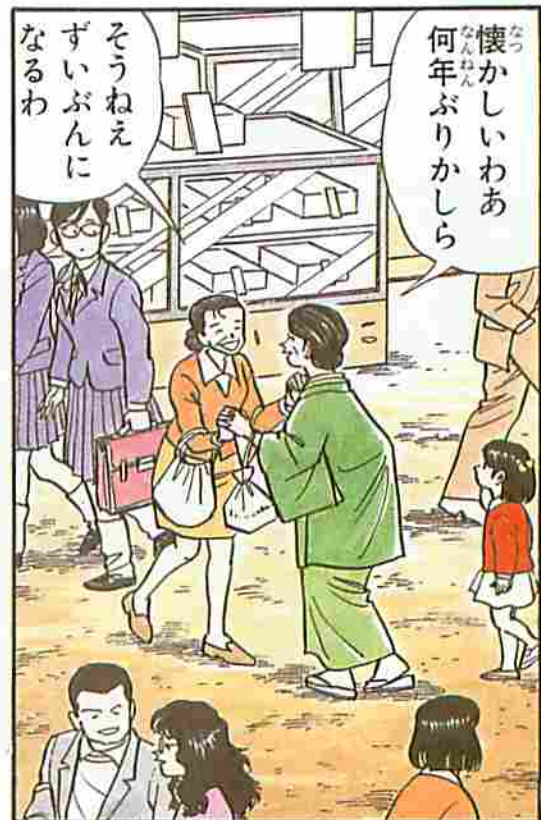
わかってるって  
今日のわたしは  
荷物持ちでしょ

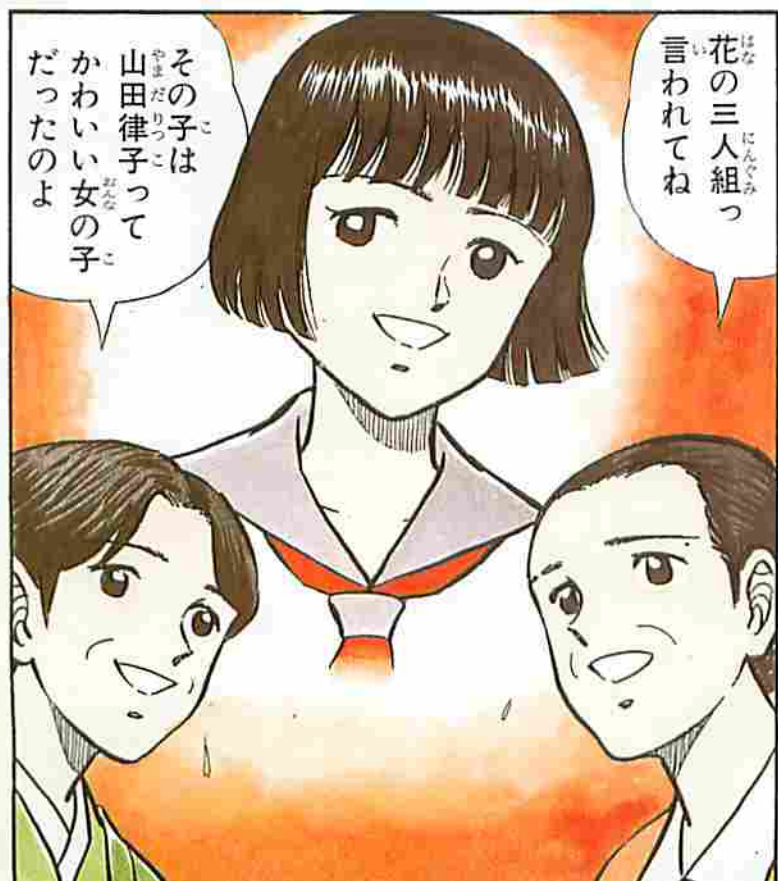
おかあさん  
本当に甘やかさ  
ないでください

ハイハイ

早く帰って  
くるのよ



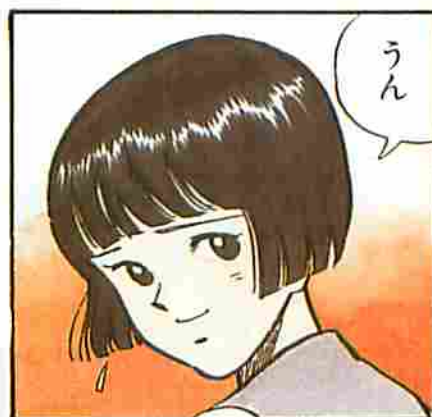




## 第二章

# 友情にかかる黒い影

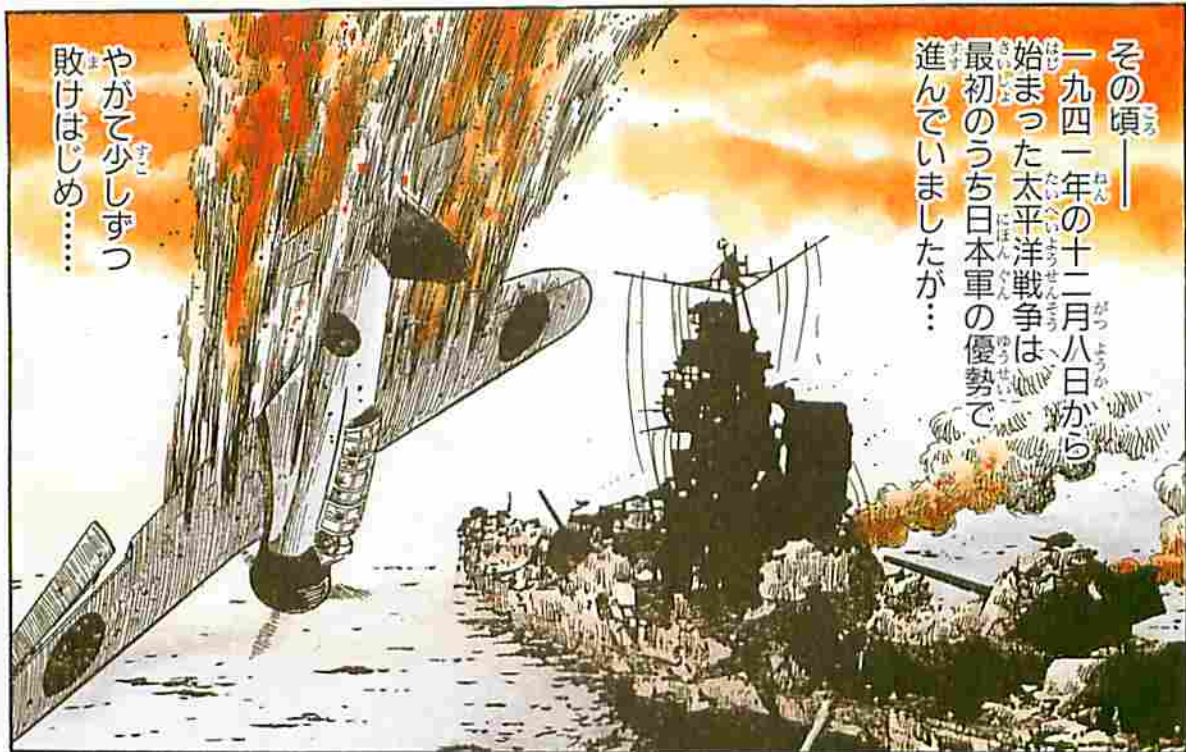




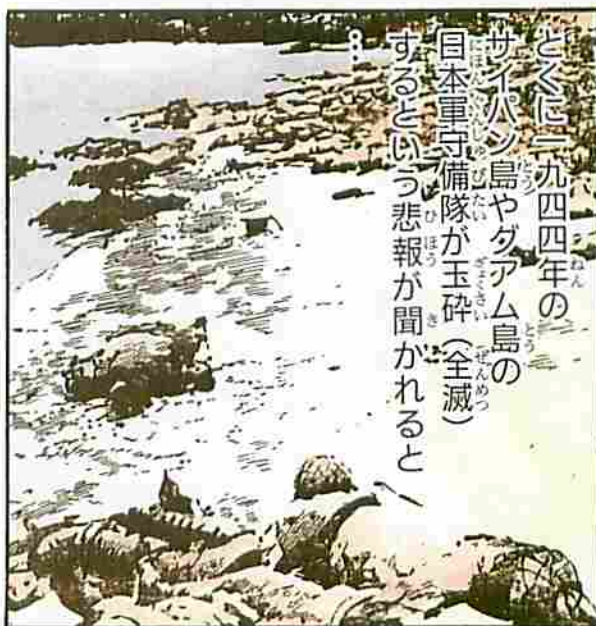


その頃——  
一九四一年の十二月八日から  
始まった太平洋戦争は  
最初のうち日本軍の優勢で  
進んでいきましたか……

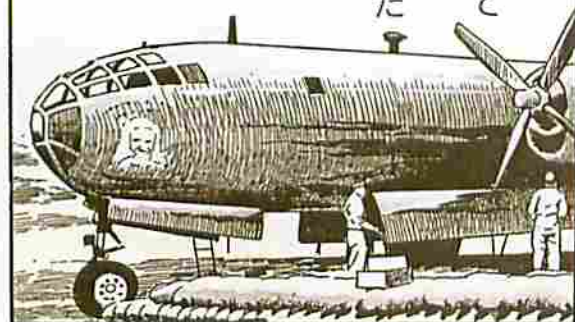
やがて少しずつ  
負けはじめ……



とくに一九四四年の  
サイパン島やグアム島の  
日本軍守備隊が玉砕(全滅)  
するといふ悲報が聞かれると



アメリカ軍が直接  
日本本土に攻撃して  
くるという恐怖が  
国民全体に広がった  
のです



### 子どもの遊び

戦時下の子ども(都市部)は、男の子は戦争ごっこ、メンコ、すもう、将棋(はさみ将棋、回り将棋など)もありました、下駄とりなど。また女の子は、あやとり、看護婦ごっこ、ローセキのお絵かきなどでおもに遊びました。

しかしこの頃になると、子どもの遊びもいろいろと制約を受けました。たとえば鬼ごっこは、鬼(悪)がふえるので禁止されたり、一方、占領ごっこ(侵略をまねた遊び)は戦争に賛成する気持ちが高まるので、遊んでいるとほめられました。

さらに、武器をつくるために金属が集められ、鉄棒やフランコなどの鉄の部分が回収されてしまいました。



戦争ごっこをして遊ぶ子どもたち



学校からブランコや  
鉄棒がなくなり  
ました

兵器にするために  
持っていったのです

でも子供たちは  
元気です

ナギナタの  
稽古をしたり…



運動会や  
学芸会も  
はりきって  
ガンバリました



遊ぶことも  
忘れません

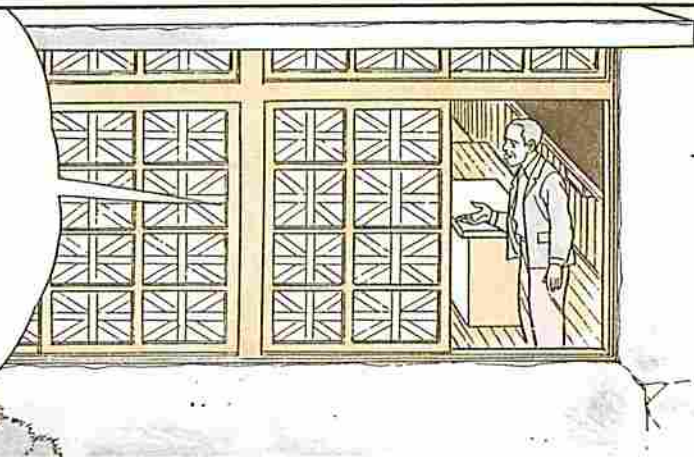


給食も仲良く  
食べました…



**学芸会**  
戦時下の小学校にも学  
芸会はありました。ただ  
現在のように平和で楽し  
い劇ばかりではなく、時  
代の影響を強く受けて戦  
争をテーマにした出し物  
がほとんどでした。  
そしてそれが子どもた  
ちの戦争を肯定する気持  
ちをつくり、男の子は兵  
隊さんに女の子は看護婦  
さんになりたいという思  
いを強くさせました。

そんなある日……



……というわけで  
アメリカ軍の空襲が  
予想されるのでみんなの  
身の安全をはかるため  
「疎開」することに  
なりました

空襲って  
なんだ？

日本  
大東亜  
朝日  
大和

アメリカ軍の  
飛行機が飛んできて  
爆弾を落とすんだ

大人たちが  
「防空演習」って  
やってるだろ

あれは爆弾で  
家が燃えた時  
みんなが消火する  
訓練なんだぜ

ふーん……

疎開ってみんな  
一緒にいなかへ  
引っ越すんでしょ

わたし……  
身体が弱いから  
疎開できないの

いやだよ  
りっちゃん  
と離れたくない  
よお

わたしも  
いやあ！

### 運動会

この時期も運動会は盛んに行われていました。しかし内容は今とはかなりちがいで、戦争で死にたいことを教えこむことなどが目的でした。種目も肉弾三勇士（昭和7年2月上海戦線に爆弾をかかえて敵陣に突入した3人をこう呼んで英雄あつかいました）のような戦争気分を高めるものが中心で、全体的に遊び気分というより訓練のような雰囲気でした。

また国民全体が丸になるために、学校だけでなく村ぐるみ町ぐるみで運動会が行われることがありました。



兵隊の訓練をまねた競技もありました。



そして花の三人組も  
別れる日がきました



手紙書く  
からね！

身体が丈夫に  
なったらおいで  
よ！

わたし…  
別れたく  
ない



わたしたち  
だって…

戦争って  
…ひどい

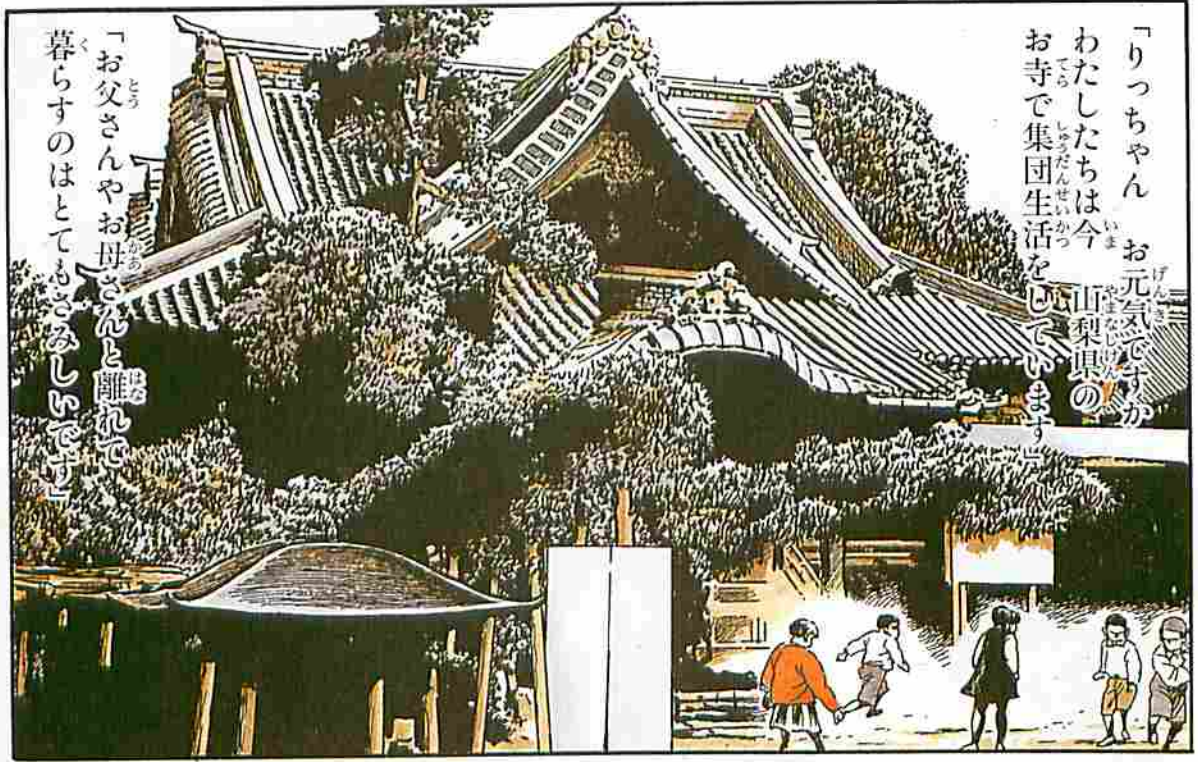


疎開のために町を離れる子とそれを見送る  
子どもたち。

**学童疎開**  
空襲で都市部の危険度が  
増すと、子どもたちは都市  
を離れるように指示されま  
した。これが疎開です。疎  
開にはいなかの親類のとこ  
るに行く「縁故疎開」と、  
学校ごと空襲のない場所に  
移動する「集団疎開」とが  
ありました。  
しかし子どもたちすべて  
が疎開できたわけではあり  
ません。親が申し込まな  
かった、身体が弱い、団体生  
活に適さないなどの理由  
で、都市部で生活を続ける  
子どももいました。  
子どもたちは「学童疎開」  
によって、疎開組と残留組  
とにわかれ、悲しいことに  
再び会えなくなった友だち  
がたくさんいました。

### 第三章

## 友情を運ぶ手紙



「まあちゃん  
お手紙ありがとう」



「うれしくて何度も  
読みました」

「わたしも早く  
そちらへ行きたいの  
ですがお医者さまの  
許しができません」



「東京は空襲が  
多くて怖いです」

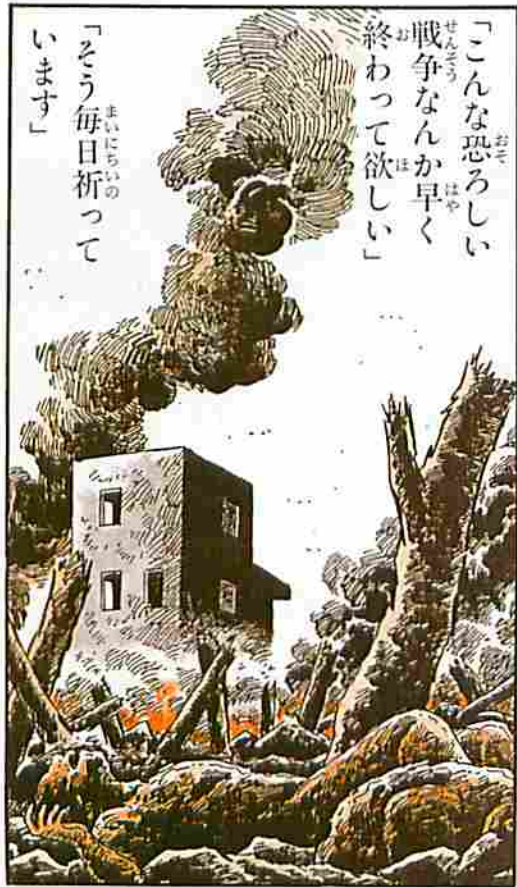


「先月の二十四日には  
東京のあちこちに  
B29がたくさん来て  
爆弾をいっぱい落とし  
大勢の人が死んだ  
そうです」



「こんな恐ろしい  
戦争なんか早く  
終わって欲しい」

「そう毎日祈って  
います」



## 疎開児童の食事

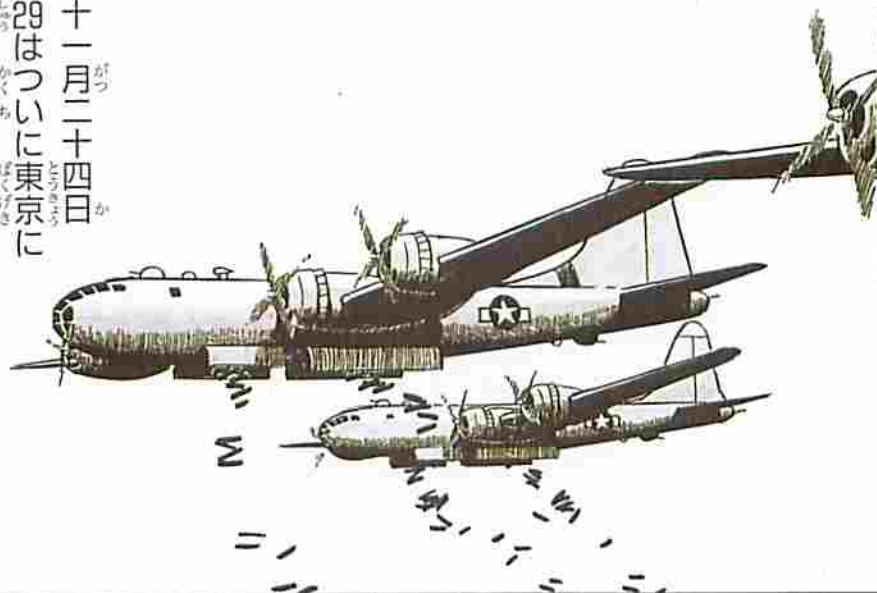
疎開した地域によってちがいますが、ほとんどが物資不足のために粗末な食事をしていました。ある疎開地ではふぞろいの食器で、ドンブリ8分目のごはん（イモや大根をませたもの）とみそ汁、それに大皿のおかず一品（2人で食べます）という食卓風景でした。

これ子どもたちは、戦地の兵隊さんに感謝し父母の無事を折り、さらに天皇陛下にお礼を言う儀式をすませてから、食べ始めました。



この疎開地でも十分な食べ物はありませんでした。

九四四年六月十六日  
アメリカ軍のB29が初めて  
北九州を爆撃しました

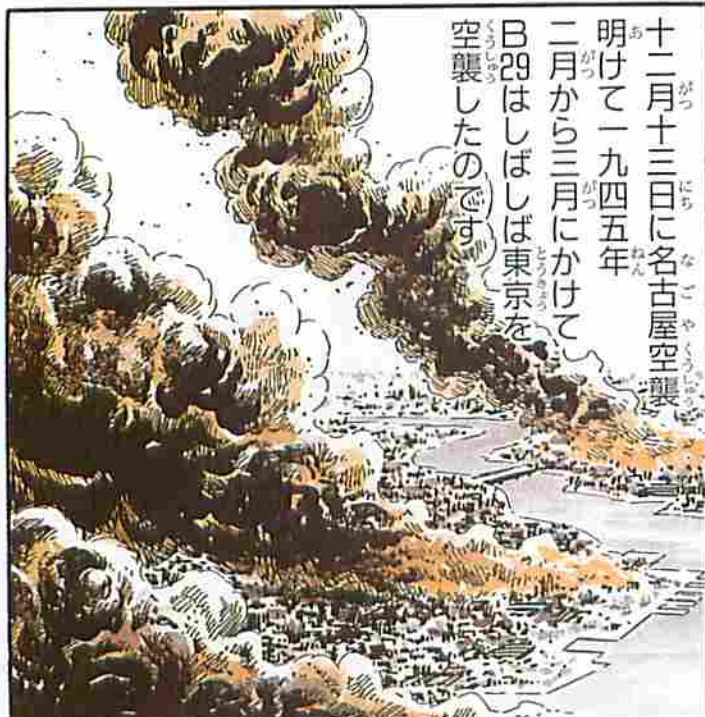


同十一月二十四日  
B29はついに東京に  
来襲し各地を爆撃  
死傷者は約五五〇人に  
のぼりました

こうしてアメリカ軍の  
日本本土空襲は本格的に  
始まったのです



十二月十三日に名古屋屋空襲  
明けて一九四五年  
二月から三月にかけて  
B29はしばしば東京を  
空襲したのです



### 空襲時の子ども の心得

疎開が始まる以前の小学  
校の校庭では、しばしば  
防空演習が行われました。  
ここではおもに爆弾の爆風  
にはものかけに入るとか、  
地面にふせて手で目と耳と  
鼻をおさえ口を開けるよう  
にと教えられました。しか  
し皮肉にも、この子どもた  
ちを襲ったのは爆弾ではな  
く、焼夷弾（火のついた油  
でした。



防空演習をする子どもたち。

東京は空襲が  
はげしくなっ  
てきたみたいね

ずいぶん  
たくさんの方が  
死んだんだって

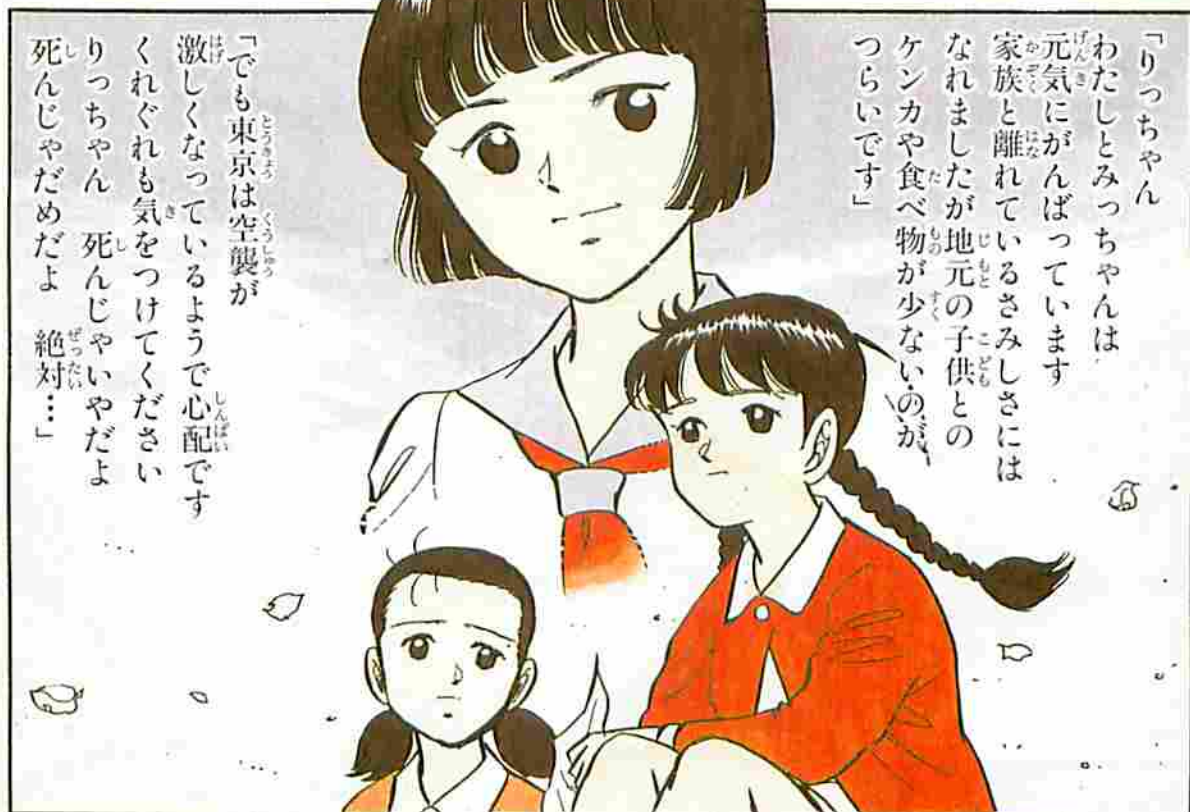
わたしたちの  
家族はまだ  
無事らしいけど  
……

りっちゃん  
病人なのに  
逃げられる  
のかなあ……



「りっちゃん  
わたしとみっちゃんは  
元気にがんばっています  
家族と離れているさみしさには  
なれましたが地元の子供との  
ケンカや食べ物が少ないのが  
つらいです」

「でも東京は空襲が  
激しくなっているようで心配です  
くれぐれも気をつけてください  
りっちゃん 死んじやいやだよ  
死んじやだめだよ 絶対……」



### 焼夷弾

ヨーロッパの家は主に石や土でできています。だから被害を与えるには、こわすしかありません。しかし当時の日本の家はおもに木と紙でできていました。こわすより焼いてしまっほうが簡単です。アメリカはここに注目して、日本の家を効果的に焼きつくそうと火の砲弾「焼夷弾」を開発しました。焼夷弾はあの大型爆撃機 B29 によって、遠くから大量に運ばれました。

一方日本側は、防空壕や防火用水桶やバケツリレーで建物を守り、人間は防空頭巾や鉄かぶなどをかぶって焼夷弾に対抗しようとしていました。これはあまりに無謀な話で、多くの建物と尊い人命が焼きつくされてしまったのです。



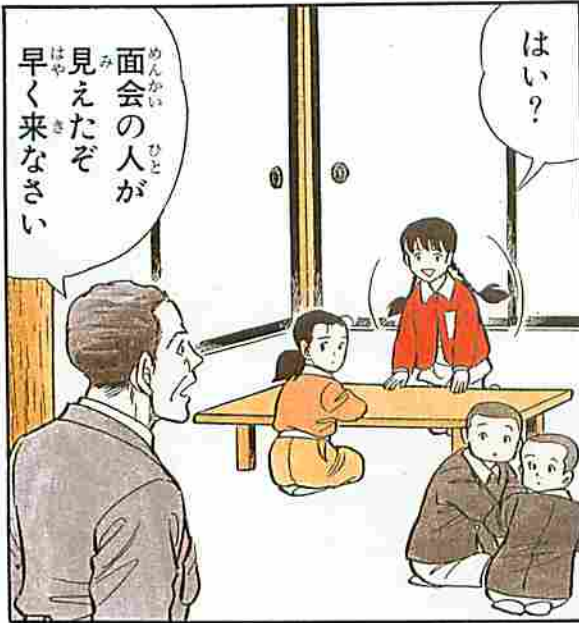
B29は日本各地に爆弾を落としました。



# 第四章

# 燃え尽きた友情

一九四五年  
五月のある日





おおよま  
大山さんは  
疎開する途中  
正子に会いに来て  
くれたのです

東京では  
三月九日の  
夜中から十日に  
かけて大空襲が  
あってね



お母さん  
……  
死んだの？



いや……  
大丈夫  
元気だよ



あの日——  
夜中にB29の  
爆音で目が  
覚めたんだが……

見上げると  
空いっぱい  
B29が飛んでいた  
……

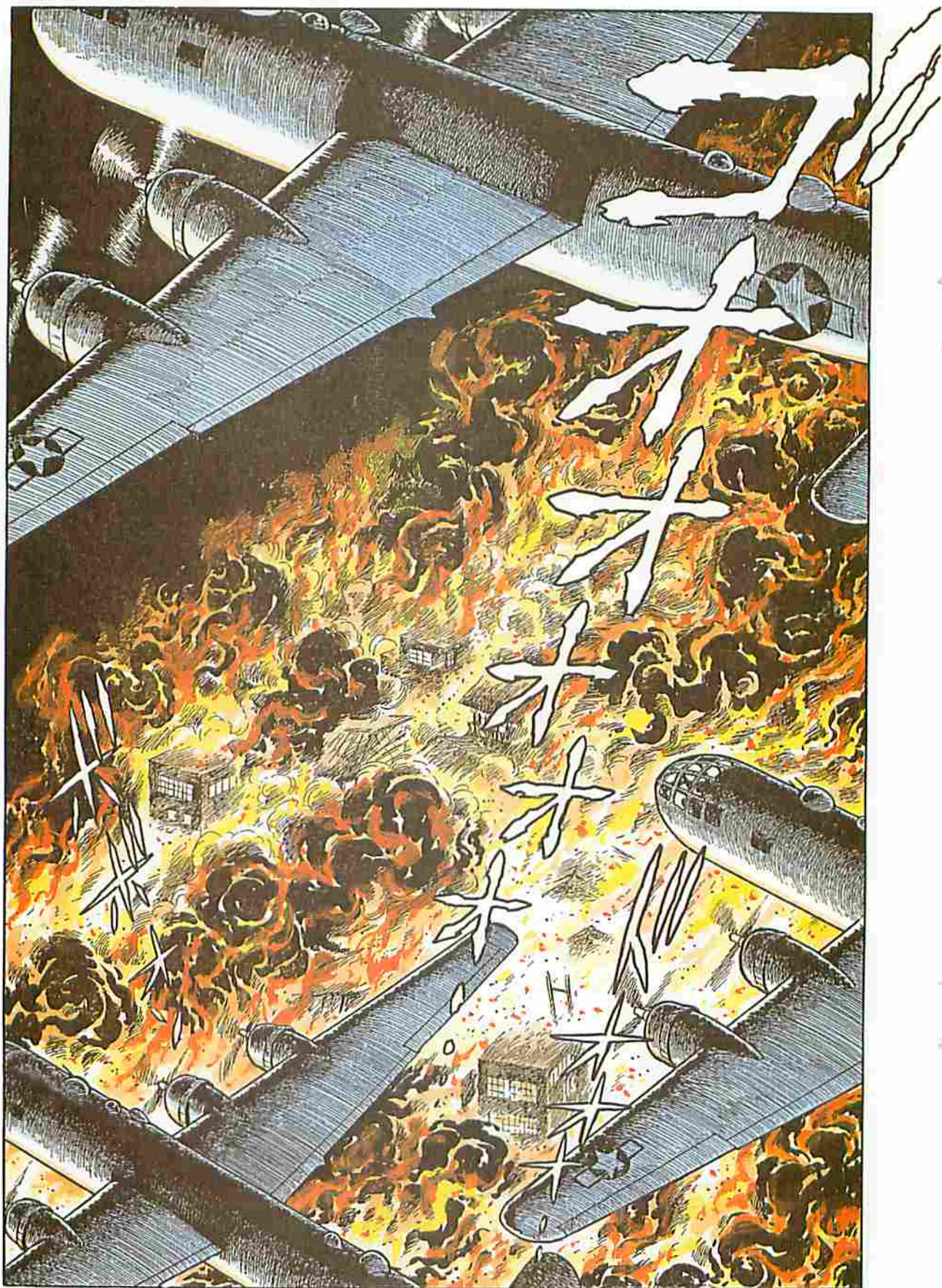
### 空襲下の動物園

空襲下の動物園には悲しい出来事がある。いろいろな動物園で餌(毒入りジャガイモ)を食べなかつた象のジヨンと花子とトンキーの話は胸が痛くなります。利口な象は毒入りと悟って食べず、3頭とも餓死してしまつたのです。

このころ動物園の猛獣を殺そうとしたのは、空襲の時に暴れて危険であることと、国民に時局の重大さを知らせるためでした。何ともやりきれない行爲です。



多くの動物が殺されました。





ぎゃああつ

わああつ

すごい数だつ  
アメリカ軍は  
あんなにB29を  
持っている  
のか!



早く早く  
急ぐのよ!

かあちゃんつ

荷物  
は  
持ったか?

風上へ逃げろつ  
火に囲まれたら  
助からないぞ!



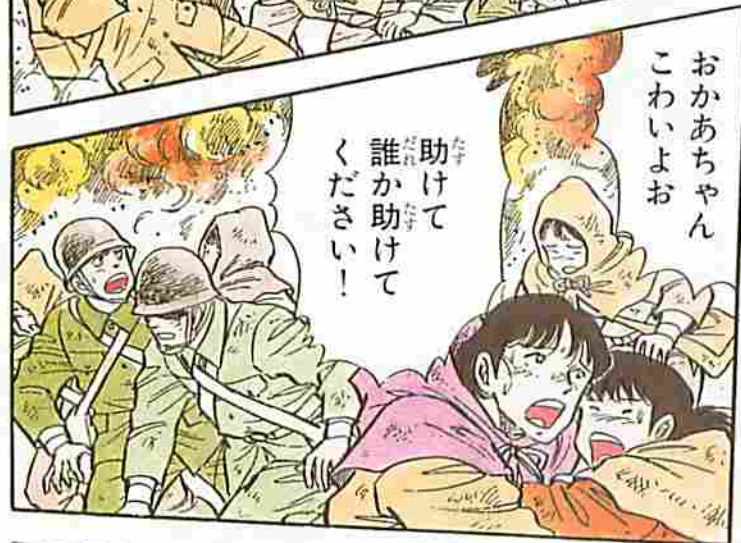
やつら焼夷弾を  
バラまいている!





わあああ！

きやああつ



おかあちゃん  
こわいよお

助けて  
誰か助けて  
ください！



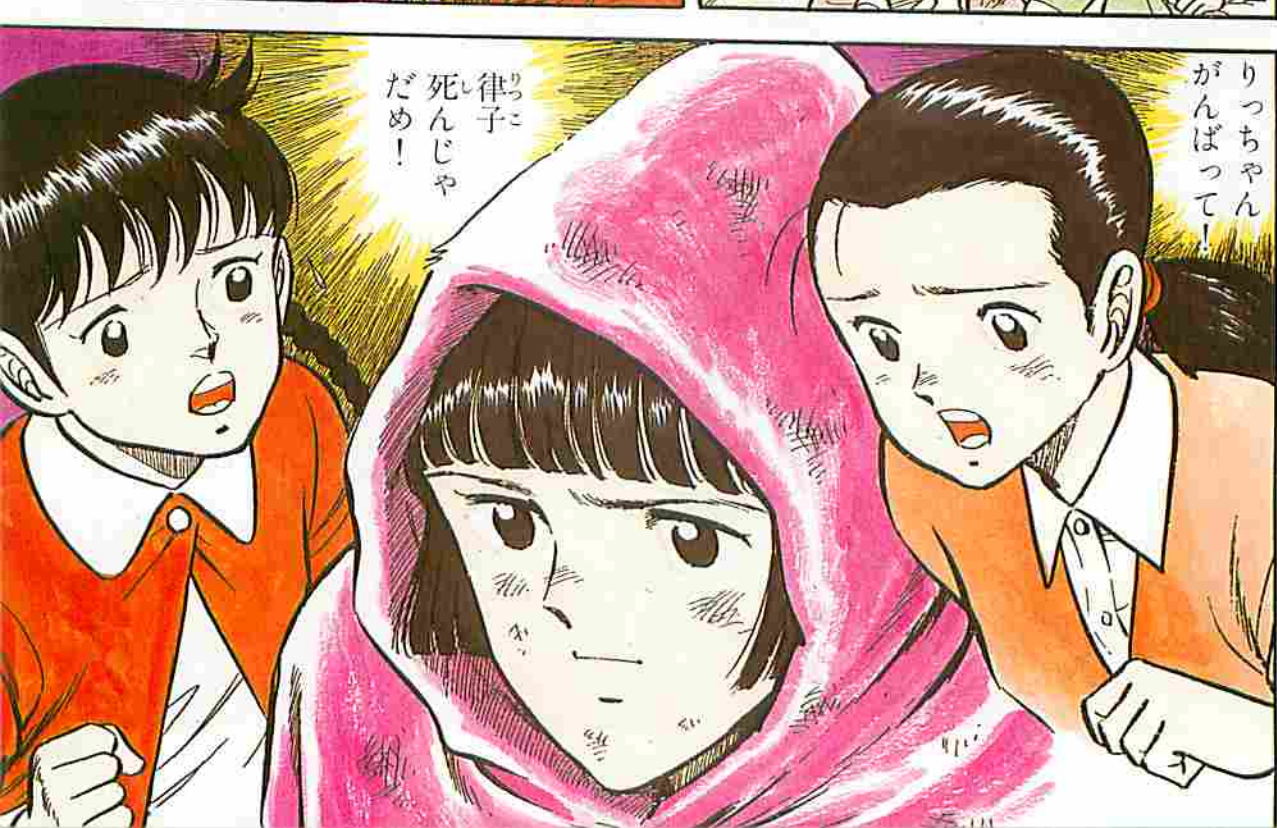
わかってる  
急げっ

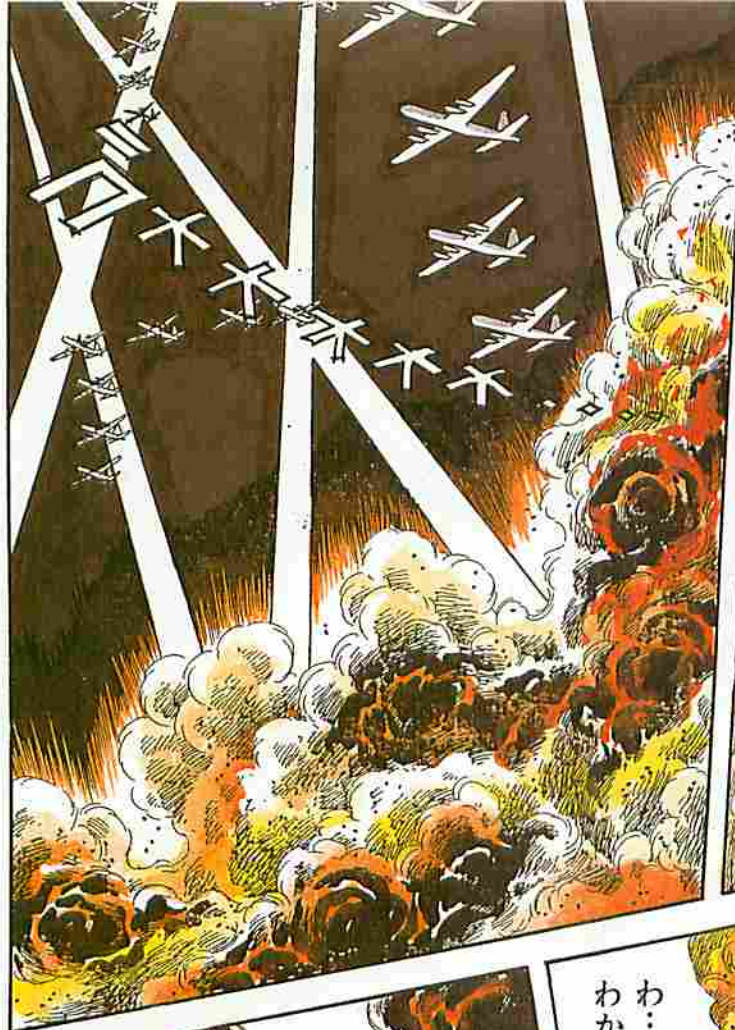
律子だけでも  
助けて！

あなた  
律子を…

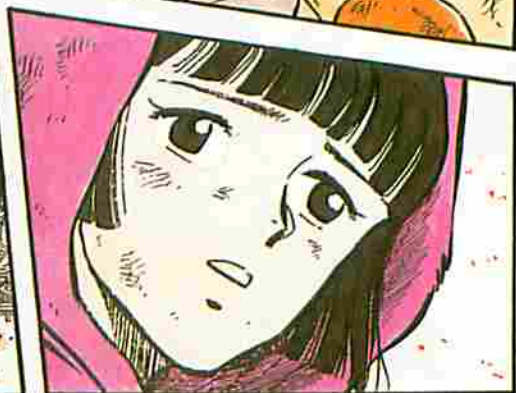
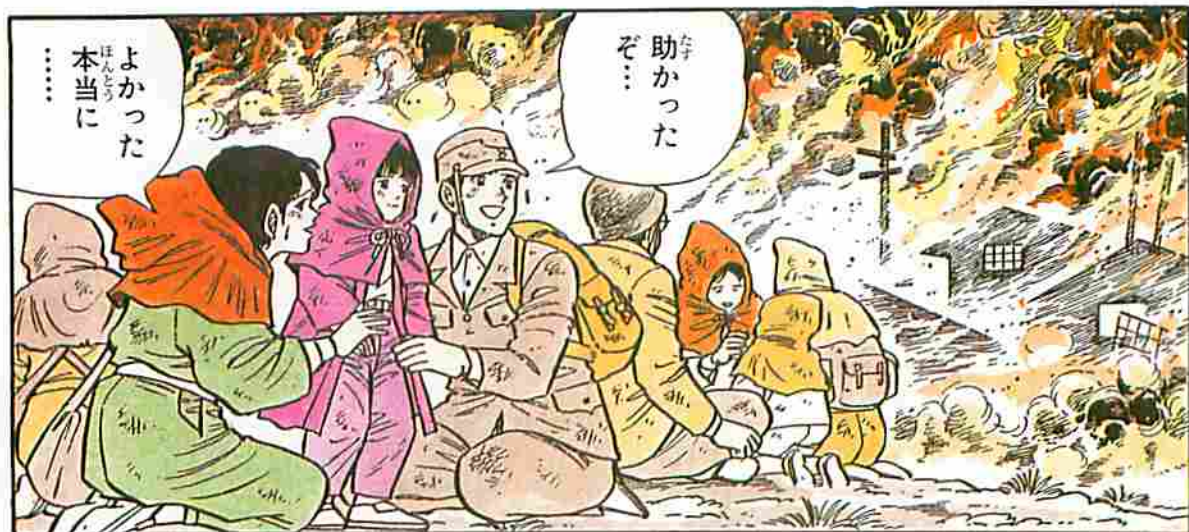


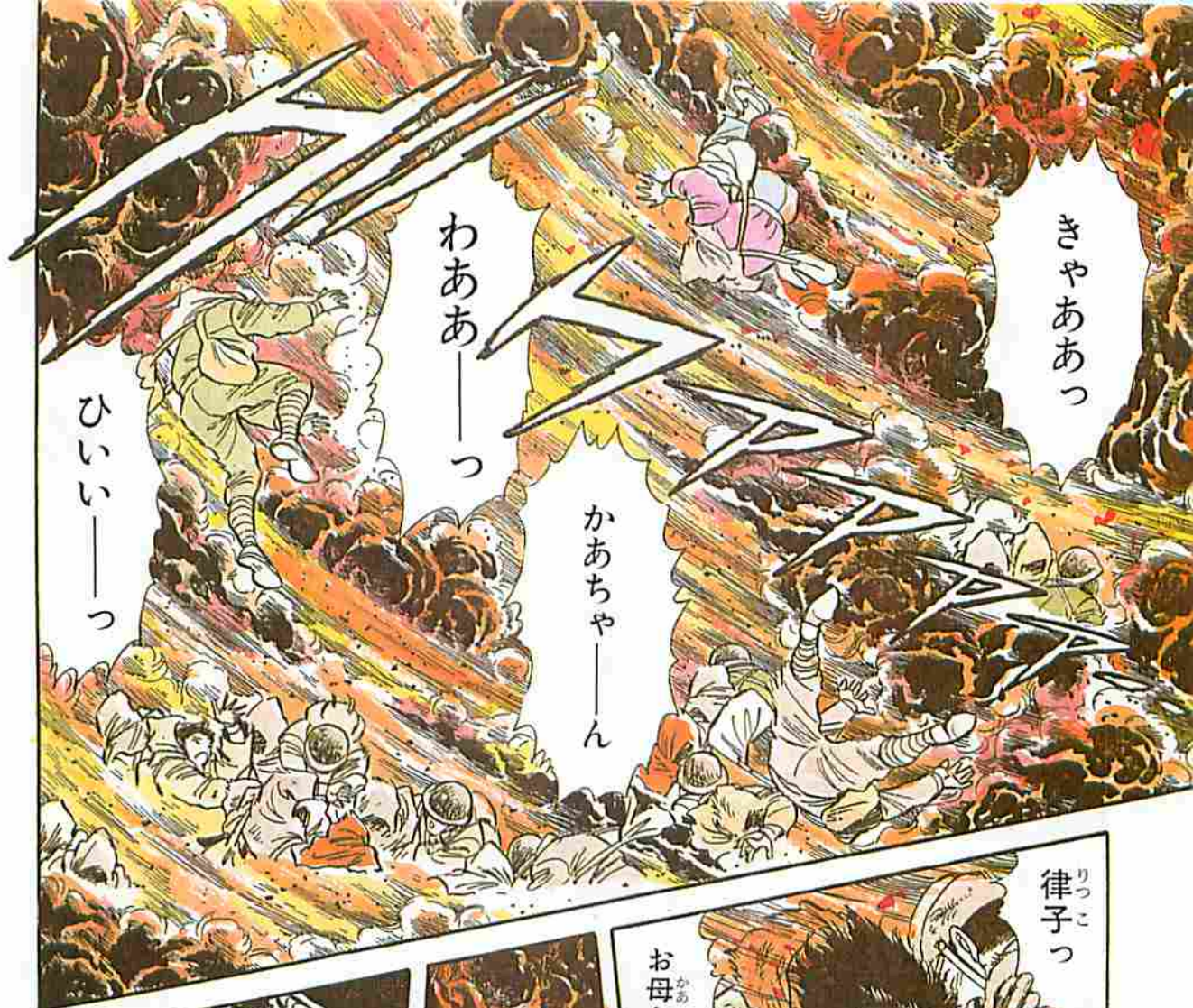
ア  
ア  
ア  
ア









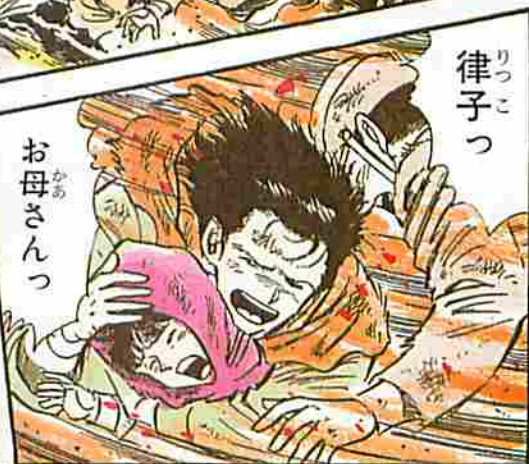


きやああつ

わああ——つ

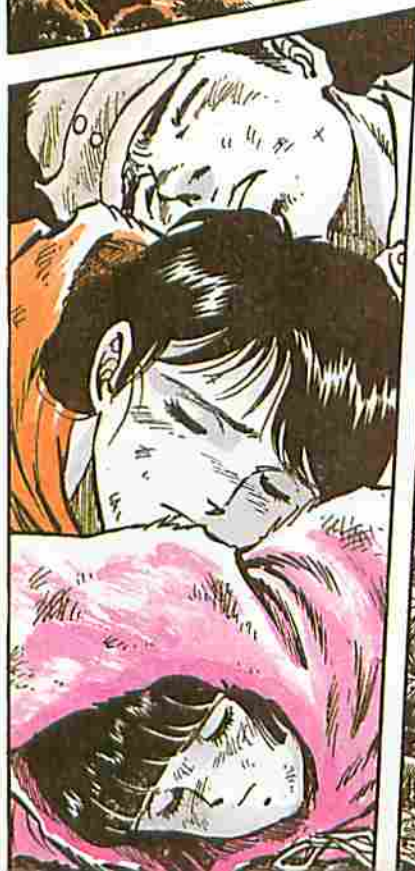
かあちや——ん

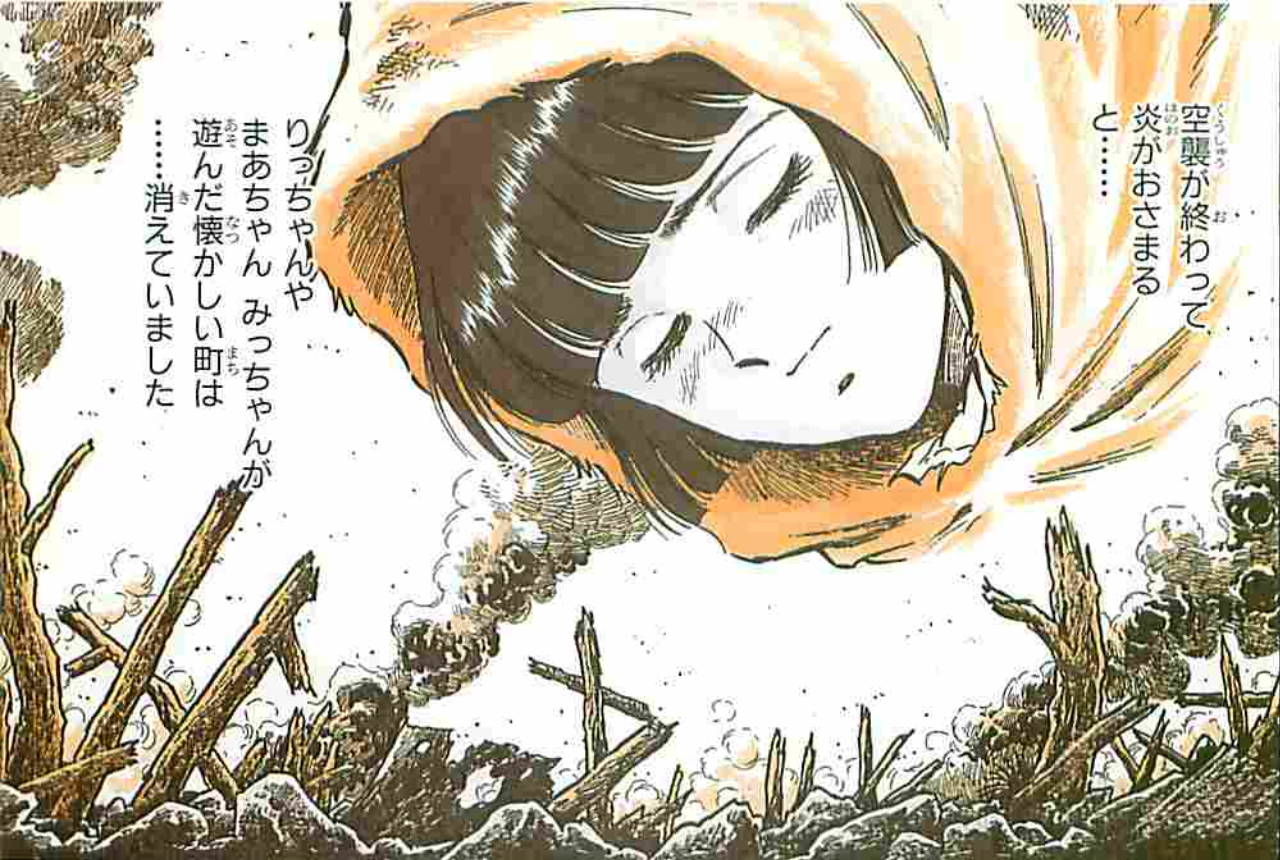
ひい——つ



りつこ  
律子つ

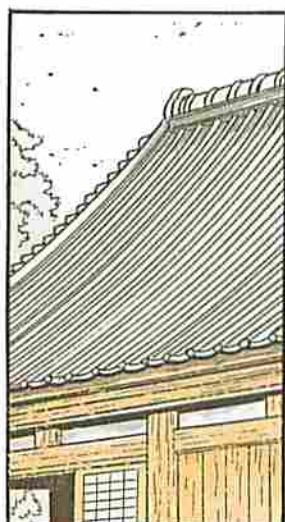
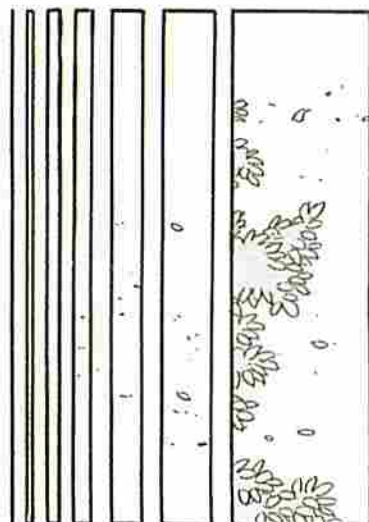
お母さんかあつ





空襲が終わって  
炎がおさまると……

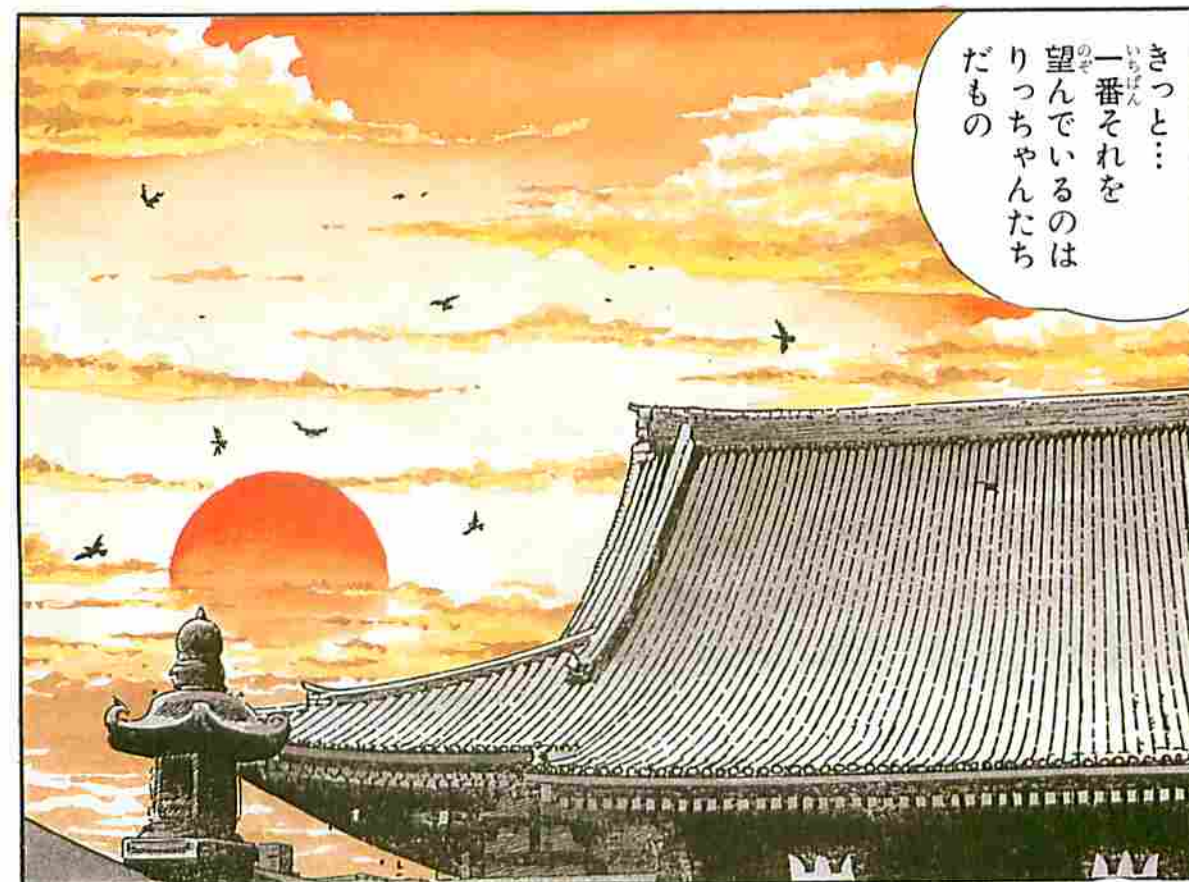
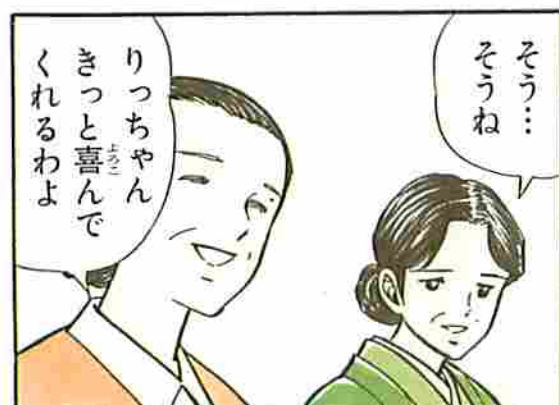
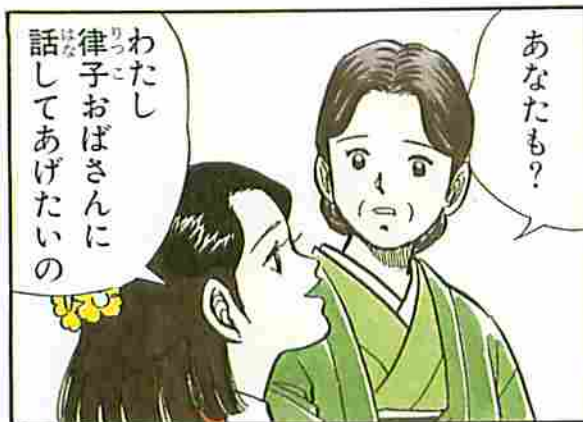
りっちゃんや  
まあちゃん みっちゃんか  
遊んだ懐かしい町は  
……消えていました



りっちゃんが生きていたら  
どんな人になって  
いたかしら…？

小説家か  
詩人になって  
いたかも…ね





## おもなできごと

- 1931年 昭和6年 満州事変が起こる。  
このころから軍人が力をもちはしめる。
- 1932年 昭和7年 5・15事件、海軍の将校らが犬養毅首相を暗殺する。  
政党政治が終わり、さらに軍人の力が強まる。
- 1933年 昭和8年 日本は国際連盟を脱退。
- 1936年 昭和11年 2・26事件、陸軍の青年将校たちが高橋是清蔵相らを暗殺する。
- 1937年 昭和12年 日中戦争がはじまる。  
民主主義や自由主義の思想への弾圧がはじまる。
- 1938年 昭和13年 国家総動員法の制定で総力戦体制が強まる。
- 1940年 昭和15年 日独伊三国同盟が結ばれる。
- 1941年 昭和16年 小学校が国民学校と名前が変わる。  
日本の海軍がハワイの真珠湾を攻撃する。太平洋戦争がはじまる。
- 1942年 昭和17年 アメリカ軍機が日本をはじめて空襲する。  
日本の艦隊、ミッドウェー海戦でやぶれる。  
もの不足のために配給制度が強められる。
- 1943年 昭和18年 ガダルカナル島の日本軍が撤退をはじめめる。  
中学生以上の学生や女学生が武器をつくる工場などで働かされる。  
大学生も学業のとちゅうで戦地に行くようになる(学徒出陣)。
- 1944年 昭和19年 大都市では国民学校の子どものたちの集団疎開がはじまる。  
サイパン島の日本軍が全滅する。
- 1945年 昭和20年 東京などが大きな空襲にあい、焼け野原になる。  
広島・長崎に原子爆弾が落とされる。  
日本、ポツダム宣言を受け入れて降伏する。

くわしゅう

## 空襲にあった町

1942年(昭和17)の4月から戦争が終わった1945年(昭和20)の8月までのあいだ、日本国内の以下のような場所が空襲にあいました。ひとつの場所で何回も空襲にあった町もあります。このほかにも規模の小さなもの、軍の施設が爆撃されたものなど、実際にはもっと多くの空襲がありました。この空襲で50万以上の人が亡くなりました。

●北海道	●群馬県	●福井県	●滋賀県	●山口県	●熊本県
旭川市	前橋市	福井市	大津市	下関市	熊本市
室蘭市	高崎市	敦賀市	●大阪府	宇部市	荒尾市
釧路市	桐生市	●山梨県	大阪市	山口市	宇土市
帯広市	伊勢崎市	甲府市	堺市	徳山市	●大分県
根室市	太田市	●長野県	豊中市	防府市	大分市
本別町	●埼玉県	長野市	高槻市	下松市	別府市
●青森県	川越市	上田市	●兵庫県	岩国市	中津市
青森市	熊谷市	●岐阜県	神戸市	小野田市	日田市
●岩手県	川口市	岐阜市	姫路市	光市	佐伯市
盛岡市	●千葉県	大垣市	尼崎市	●徳島県	●宮崎県
花巻市	千葉市	●静岡県	明石市	徳島市	宮崎市
釜石市	銚子市	静岡市	西宮市	●香川県	延岡市
●宮城県	船橋市	浜松市	芦屋市	高松市	日南市
仙台市	館山市	沼津市	伊丹市	●愛媛県	●鹿児島県
石巻市	木更津市	清水市	相生市	松山市	鹿児島市
塩竈市	松戸市	磐田市	●和歌山県	今治市	川内市
●秋田県	●東京都	●愛知県	和歌山市	宇和島市	串木野市
秋田市	区部	名古屋市	海南市	八幡浜市	阿久根市
●山形県	八王子市	豊橋市	有田市	西条市	出水市
酒田市	立川市	岡崎市	御坊市	●高知県	指宿市
●福島県	●神奈川県	一宮市	田辺市	高知市	国分市
郡山市	横浜市	瀬戸市	新宮市	●福岡県	西之表市
いわき市	川崎市	豊川市	串本町	北九州市	垂水市
●茨城県	平塚市	●三重県	●鳥取県	福岡市	喜入町
水戸市	藤沢市	津市	米子市	大牟田市	山川町
日立市	小田原市	四日市市	境港市	久留米市	舘娃町
●栃木県	●新潟県	伊勢市	●岡山県	●長崎県	知覧町
宇都宮市	新潟市	桑名市	岡山市	佐世保市	東市来町
足利市	長岡市	上野市	●広島県	島原市	東郷町
真岡市	●富山県	鈴鹿市	呉市	諫早市	始良町
田沼町	富山市		福山市	大村市	

昭和54年3月内閣総理大臣官房管理室編「全国戦災実調査報告書」より

●この物語は戦争の悲惨さを次の世代に伝えるために、事実にもとづいて制作したフィクションです。したがって、この物語に登場した人物や団体などは実存しません。

写真©毎日新聞情報サービスセンター



この本を読んで、感想や作文をお寄せください。

**社団法人 日本戦災遺族会**

〒102-0083 東京都千代田区麴町1-3 山京ビル4F Tel. 03-3264-5287

1998.3